



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ファルテック

コード番号 7215 URL <http://www.faltec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 戸井田 和彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員

(氏名) 加藤 浩

TEL 044-520-0290

四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	37,096	2.9	1,233	13.0	1,145	△6.5	738	△6.2
26年3月期第2四半期	36,049	—	1,091	—	1,224	—	787	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 628百万円 (△59.7%) 26年3月期第2四半期 1,560百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	80.45	79.70
26年3月期第2四半期	85.75	85.08

(注) 平成25年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

平成26年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
27年3月期第2四半期	56,076	—	15,443	24.9	24.9	1,517.82
26年3月期	53,185	—	14,968	26.7	26.7	1,548.53

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 13,941百万円 26年3月期 14,224百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	130.00	130.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	43.33	43.33

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を行っているため、27年3月期(予想)の期末の1株当たり配当金については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の27年3月期(予想)の期末の1株当たり配当金は130円00銭であり、年間の1株当たり配当金は130円00銭であります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	79,000	2.1	3,600	8.2	3,400	△2.9	2,100	0.8	228.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成26年11月11日)公表致しました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) PT. FALTEC CLASSIC AUTOMOTIVE
MANUFACTURING

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	9,186,000 株	26年3月期	9,186,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	624 株	26年3月期	417 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	9,185,412 株	26年3月期2Q	9,185,763 株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 平成26年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する監査手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の売上高は、中国市場における日本車市場の回復による中国子会社の売上増等により37,096百万円(前年同期比2.9%増)となりました。

営業利益は、中国の新設子会社及びタイ子会社の工場立上げに伴う費用の発生等があったものの、中国子会社の増収効果等により1,233百万円(同13.0%増)となりました。

また、経常利益は、前年同期に為替差益が177百万円計上されたのに対し、当第2四半期連結累計期間は為替差損が24百万円計上されたことから、営業外損益が前年同期比221百万円減少したこと等により1,145百万円(同6.5%減)となりました。

四半期純利益は、受取保険金143百万円、補助金収入39百万円、事業撤退損117百万円、特別割増退職金34百万円計上等により738百万円(同6.2%減)となっております。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

(自動車部品事業)

売上高(セグメント間売上高を含まない)は、中国子会社の生産が大きく伸長したことにより、19,394百万円(前年同期比2.2%増)となりました。

セグメント損失は、中国の新設子会社及びタイ子会社の工場立上げに伴う費用の発生等により、247百万円(前年同期は75百万円のセグメント利益)となりました。

(自動車用品事業)

売上高(セグメント間売上高を含まない)は、電装事業及び中国用品事業の増収等により、10,110百万円(前年同期比6.8%増)となりました。

セグメント利益は、電装事業の利益貢献及び中国用品事業の増収効果等により、1,232百万円(同38.5%増)となりました。

(自動車関連機器事業)

売上高(セグメント間売上高を含まない)は、消費税増税の駆け込み需要の反動による需要減が見られたものの、新規案件の獲得等もあり、7,591百万円(前年同期比0.2%減)となりました。

セグメント利益は、低採算案件の減少による売上総利益率の改善等により、248百万円(同96.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ2,891百万円増加し、56,076百万円となりました。これは主に、現金及び預金が479百万円、原材料及び貯蔵品が862百万円、有形固定資産が1,022百万円増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ2,415百万円増加し、40,632百万円となりました。これは主に、短期借入金が1,891百万円、長期借入金が1,015百万円増加(1年内返済予定の長期借入金387百万円を含む。)したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ475百万円増加し、15,443百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が367百万円減少したこと、少数株主持分が757百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、当四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.8ポイント減少し、24.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は3,239百万円となり、前連結会計年度末比で479百万円の増加となりました。

(営業活動におけるキャッシュ・フロー)

営業活動による支出は566百万円(前年同期比364百万円減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,157百万円、減価償却費1,573百万円等の増加要因、たな卸資産の増加による減少額1,522百万円、仕入債務の減少による減少額569百万円、法人税等の支払額1,059百万円等の減少要因によるものであります。

(投資活動におけるキャッシュ・フロー)

投資活動による支出は1,588百万円(同25百万円減)となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出1,940百万円等によるものであります。

(財務活動におけるキャッシュ・フロー)

財務活動による収入は2,414百万円(同1,119百万円増)となりました。これは主に、短期借入金の純増による収入1,925百万円、長期借入金の純増による収入2,117百万円、長期借入金の返済による支出1,059百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月14日の当社「平成26年3月期決算短信」にて発表致しました通期の連結業績予想を修正しております。修正の詳細につきましては、本日発表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、湖北発尔特克汽车零部件有限公司につきましては、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

当第2四半期連結会計期間より、PT. FALTEC CLASSIC AUTOMOTIVE MANUFACTURINGにつきましては、株式の全部売却に伴い連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準とし、割引率の決定方法を、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が734百万円増加し、利益剰余金が526百万円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ19百万円増加しております。

会計上の見積りの変更

(退職給付に係る負債の数理計算上の差異の費用処理年数の変更)

従来、数理計算上の差異の費用処理年数は13年としておりましたが、従業員の平均残存勤務期間が短縮したため、第1四半期連結会計期間より費用処理年数を12年に変更しております。

なお、この変更が当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,761	3,240
受取手形及び売掛金	16,063	15,851
商品及び製品	3,202	3,961
仕掛品	641	704
原材料及び貯蔵品	1,519	2,381
繰延税金資産	477	480
その他	1,524	1,826
貸倒引当金	△15	△14
流動資産合計	26,175	28,431
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	6,084	5,903
機械装置及び運搬具 (純額)	4,176	5,180
工具、器具及び備品 (純額)	667	752
土地	7,239	7,234
リース資産 (純額)	1,629	1,753
建設仮勘定	2,007	2,004
有形固定資産合計	21,804	22,827
無形固定資産		
投資その他の資産	1,308	1,345
投資有価証券	1,690	1,236
繰延税金資産	1,680	1,713
その他	1,615	1,612
貸倒引当金	△1,089	△1,089
投資その他の資産合計	3,896	3,471
固定資産合計	27,010	27,645
資産合計	53,185	56,076

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,834	10,977
電子記録債務	2,154	2,307
短期借入金	3,276	5,167
1年内返済予定の長期借入金	2,144	2,531
リース債務	1,007	1,172
未払法人税等	979	367
賞与引当金	833	723
その他	2,978	3,289
流動負債合計	25,208	26,537
固定負債		
長期借入金	2,749	3,378
リース債務	646	616
退職給付に係る負債	7,671	8,094
訴訟損失引当金	340	345
持分法適用に伴う負債	202	193
再評価に係る繰延税金負債	1,172	1,172
その他	226	295
固定負債合計	13,008	14,095
負債合計	38,216	40,632
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,183	2,183
資本剰余金	500	500
利益剰余金	8,824	8,591
自己株式	△0	△0
株主資本合計	11,507	11,274
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	342	515
繰延ヘッジ損益	△8	△5
土地再評価差額金	1,771	1,771
為替換算調整勘定	1,625	1,258
退職給付に係る調整累計額	△1,014	△872
その他の包括利益累計額合計	2,716	2,666
少数株主持分	744	1,502
純資産合計	14,968	15,443
負債純資産合計	53,185	56,076

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	36,049	37,096
売上原価	30,619	31,145
売上総利益	5,429	5,951
販売費及び一般管理費	4,338	4,717
営業利益	1,091	1,233
営業外収益		
受取利息	5	6
受取配当金	41	31
不動産賃貸料	14	17
為替差益	177	-
持分法による投資利益	15	10
その他	47	35
営業外収益合計	301	100
営業外費用		
支払利息	138	122
為替差損	-	24
その他	29	42
営業外費用合計	168	189
経常利益	1,224	1,145
特別利益		
受取保険金	-	143
補助金収入	-	39
特別利益合計	-	183
特別損失		
固定資産除却損	27	18
事業撤退損	-	117
特別割増退職金	-	34
特別損失合計	27	170
税金等調整前四半期純利益	1,197	1,157
法人税等	467	452
過年度法人税等戻入額	△48	-
少数株主損益調整前四半期純利益	778	705
少数株主損失(△)	△9	△33
四半期純利益	787	738

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	778	705
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31	172
繰延ヘッジ損益	6	3
為替換算調整勘定	807	△395
退職給付に係る調整額	-	142
その他の包括利益合計	782	△77
四半期包括利益	1,560	628
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,479	689
少数株主に係る四半期包括利益	81	△61

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,197	1,157
減価償却費	1,409	1,573
のれん償却額	-	3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1	△110
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△47	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	-	△143
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4	△0
訴訟損失引当金の増減額 (△は減少)	-	5
受取利息及び受取配当金	△47	△38
支払利息	138	122
為替差損益 (△は益)	△177	24
持分法による投資損益 (△は益)	△15	△10
固定資産除却損	27	18
売上債権の増減額 (△は増加)	△372	68
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△794	△1,522
仕入債務の増減額 (△は減少)	△761	△569
その他	△476	△37
小計	77	542
利息及び配当金の受取額	47	38
利息の支払額	△146	△87
供託金の預入による支出	△329	-
法人税等の支払額	△579	△1,059
営業活動によるキャッシュ・フロー	△930	△566
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,943	△1,940
有形及び無形固定資産の売却による収入	609	735
投資有価証券の取得による支出	△286	△0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	-	△3
貸付金の回収による収入	8	1
事業譲受による支出	-	△370
その他	△2	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,614	△1,588
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,213	1,925
長期借入れによる収入	604	2,117
長期借入金の返済による支出	△1,631	△1,059
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△522	△619
少数株主からの払込みによる収入	-	449
自己株式の取得による支出	-	△0
配当金の支払額	△367	△398
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,295	2,414
現金及び現金同等物に係る換算差額	262	△102
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△986	157
現金及び現金同等物の期首残高	3,888	2,760
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	322
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△2	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,899	3,239

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品事業	自動車 用品事業	自動車関連 機器事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,971	9,470	7,607	36,049	-	36,049
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7	2	15	25	△25	-
計	18,979	9,472	7,622	36,074	△25	36,049
セグメント利益	75	889	126	1,091	0	1,091

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品事業	自動車 用品事業	自動車関連 機器事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,394	10,110	7,591	37,096	-	37,096
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	0	18	19	△19	-
計	19,395	10,110	7,609	37,115	△19	37,096
セグメント利益又は損失 (△)	△247	1,232	248	1,233	0	1,233

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益が、それぞれ自動車用品事業で2百万円、自動車関連機器事業で3百万円減少し、セグメント損失が自動車部品事業で12百万円減少しております。